

新設エレベーターだけに戸開走行保護装置を義務付ける

平成 18 (2006) 年の事故の後、国土交通省は建築基準法の政令を改正し、平成 21 (2009) 年 9 月 28 日以降に着工した建築物に新設されるエレベーターには、「戸開走行保護装置」をつけることを義務付けました。

既設 70 万機は置き去りに

しかしこれは改正前の「既設」の約 70 万機のエレベーターには適用されていません。エレベーターは、設置されると 20~30 年間は使われます。この既設のエレベーターこそが危険なのです。

既設のエレベーターに戸開走行保護装置をつける場合、多額の費用がかかります。

利用者の命を守るために

義務付けのある昇降機法の制定を！

日本では、エレベーターの安全については建築基準法で定められています。

エレベーターは走行する「機械」なのに建物設備という扱いで、時代にマッチしていません。

東京高裁は、シンドラー社と SEC 社の被告人全員に無罪の判決をしました。ブレーキの異常摩耗がいつ発生したかについて証拠がないというのがその理由です。しかし、異常が発生していないかを点検して報告するのが保守点検業者の責務です。保守点検業者が保守点検報告書にプランジャーの位置を示す写真や数値を記録していれば、いつ異常摩耗が発生したかは簡単に分かるのです。ところが、シンドラー社も SEC 社も写真や数値を記録していなかったために、いつ異常摩耗が発生したかがいまだに分からないのです。これでは事故原因解明も再発防止もできません。

- 1、既設を含め、全てのエレベーターに戸開走行保護装置を義務付ける。
- 2、全てのメーカーに対し、保守点検に必要な情報の開示を義務付ける。
- 3、全ての保守点検業者に対し、保守点検時・不具合修理時に数値や写真等による具体的な報告を義務付ける。

これらの法制化が必要です。

知っていますか？ エレベーターの と かい そう こう 戸 開 走 行 事 故



エレベーター事故というと、地震の時の閉じ込めが思い浮かびます。しかし、それ以上に危険なのが、戸開走行（とかいそうこう）事故です。

平成 18 (2006) 年 6 月 3 日、東京都港区のシティハイツ竹芝で当時都立小山台高校 2 年生の市川大輔さんが亡くなったのは、シンドラー社製エレベーターの戸開走行事故によるものです。

戸開走行事故とは

エレベーターが扉が開いているのに、突然昇降する事故。竹芝の事故はエレベーターを止めておくブレーキが故障したために起こりました。（右図参照）

港区が同種のエレベーターで行った実験では、ブレーキを開放してからわずか 3 秒で、床が上辺に達しました。状況によってはもっと速い可能性もあります。

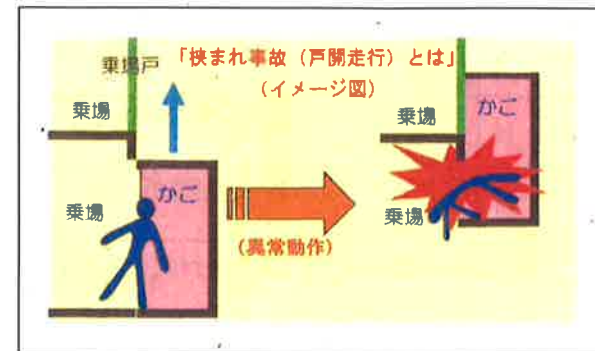


図 1 東京都都市整備局・「エレベーターをより安全にご利用頂くために」

戸開走行事故は港区の 1 回だけしか起きていないのでしょうか？
いいえ、何回も起きています。どうすれば防げるのでしょうか？

戸開走行事故には制御プログラムの故障や、ロープの切断などの原因によるものもあります。

戸開走行は、エレベーターの構造上、起きうる危険だった！

—それが 2006 年 6 月 3 日、市川大輔さんの命を奪いました—

（日本の戸開走行事故）

年	月	事故・不具合
1984	8	横浜で戸開走行による死亡事故
1992	7	広島で戸開走行(シンドラー)
2003	10	福島で戸開走行人身事故
2004	11	八王子で戸開走行(シンドラー)
2004	11	名古屋で戸開走行(シンドラー)
2006	6	東京都港区で戸開走行死亡事故(シンドラー)
2008	12	京都で戸開走行事故(骨盤骨折重傷)(東芝エレベーター)
2010	11	東大柏キャンパスで戸開走行事故(シンドラー)
2012	10	石川県金沢市で戸開走行死亡事故(シンドラー)
2015	5	兵庫県神戸市で戸開走行(三精テクノロジーズ)

なぜ？…エレベーターのかごが上がるのは、釣合錘（つりあいおもり）が下がるためです。停止階でかごが制止しているのは、ブレーキがきいているからです。このブレーキが故障すると、釣合錘の方が重ければ、かごは急上昇してしまいます。世界各国では、二重ブレーキの設置義務付けが進んでいます。📄

（世界における二重ブレーキ義務付けの法制化状況）

二重安全装置取扱会社の資料より

年	月	法制化
1990		カナダ 安全制動装置設置法制化
1994		カナダ 安全制動装置設置義務化施行
1999		ヨーロッパ CE安全規格施行
2000	7	韓国 安全制動装置設置法制化第一次施行
2002		アメリカ 安全制動装置の設置義務法制化
2003	6	韓国 安全制動装置全面設置義務法制化施行
2005	1	香港 EN Code 規格施行→設置義務法制化
2005	1	中国 安全制動装置の設置義務法制化
2009	9	日本 2006 年港区の戸開走行事故を受け、政令を一部改正。新設のエレベーターに戸開走行保護装置の設置義務化。しかし既設エレベーター約 70 万機は対象外

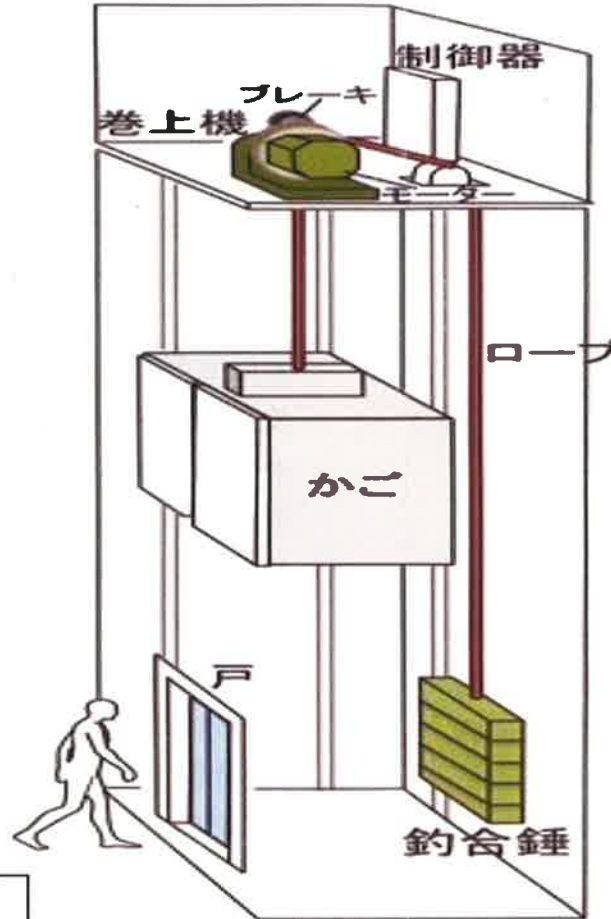


図2 エレベーターの釣合構造
労働安全衛生研究所 「エレベーターの危険性」より

救出には油圧ジャッキが必要！！

ブレーキ故障による戸開走行事故で人が挟まれた場合、手動ハンドルでは救出できず、油圧ジャッキが必要です。しかし日本では、保守点検会社にも、消防署にも、未だにその情報が十分に共有されていません。

エレベーターから降りる時でなくても、ブレーキが故障すれば乗っている人が死亡することがあります。2004 年 8 月、ニューヨークのタイムズスクエアでエレベーターが高速で上昇し、昇降路頂部に激突、男性が亡くなっています。これはブレーキの別種の故障によるものでした。

(国交省・シティハイツ竹芝エレベーター事故調査報告書 H21)